

4Qの漢字2 ～3年生に向けて～

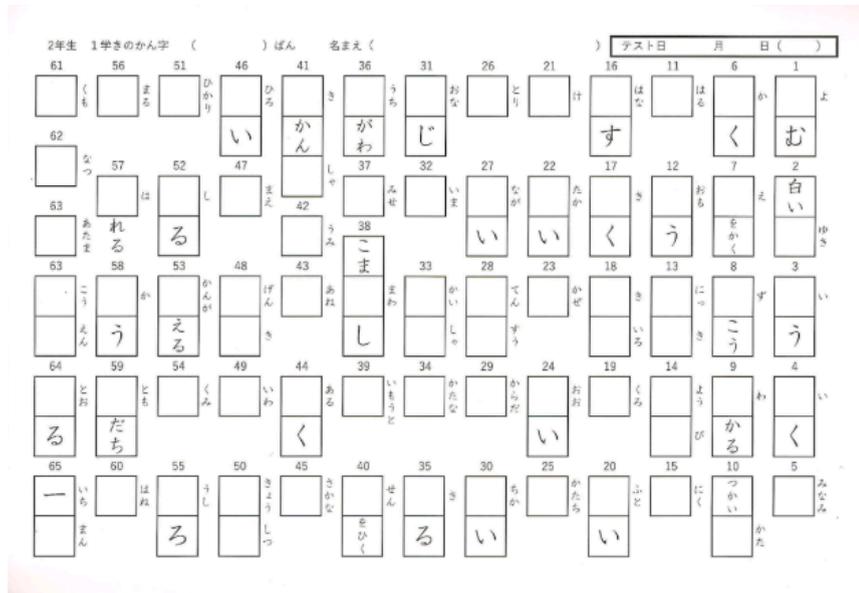
3年生に向けて、2年生までの漢字の復習を始めました。

プリントは、違う言葉でも書けるように、これまでのものとは違うものを使用しています。

プリントは①～③まであり、学年の漢字を網羅しています。

1週間ごとに最低1つの合格を目指して進め、もし早く合格した場合は先に進みます。

3年生以上のプリントも用意してあるので、進める子はどんどん先に進めます。



目標日程は以下の通りです。

～2 / 28	～3 / 7	～3 / 14
2年生①	2年生②	2年生③

その週のプリントは練習できるように事前に配布し、次のドライブのリンクから見ることもできます。

「4Qの漢字プリント集」 ※2年①41番の「きかんしゃ」→「きしゃ」

家庭学習用プリントなど

もし合格できなかった場合は、お子様に練習プリントを渡します。

2年生の漢字をしっかりと覚えた状態で次の学年を迎えられるように、ぜひご家庭でもお取り組み下さい。

また、この漢字学習は、忘れた字や分からない字を覚え直す効果ももちろんありますが、主に次のようなことを目的としています。

①細部まで漢字を覚えているか確かめ、間違えていたら覚え直す

1, 2年生の字は、漢字の基本の部分になるものがとても多いです。3年生では、「味」「集」「植」「横」「童」といった字を学びますが、それぞれ「妹」「曜」「直」「黄」「里」といった1, 2年生の字をしっかりと覚えていれば、習得は難しくありません。

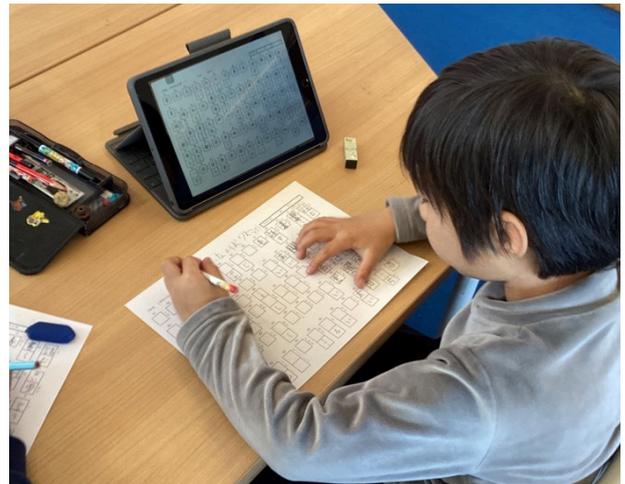
細かな部分までしっかりとすらすらと書けるように、できれば意味までばっちり覚えられるようにしていきたいです。

②3年生に向けて、もう一度漢字の学び方を身に付ける

漢字の学び方は、見て書く→見ないで書く→間違っていたら直すの繰り返しです。覚える字数も少なくそれぞれの字も簡単な低学年のうちに、このサイクルを身に付けておくと、今後の習得はスムーズです。

「漢字ノート1P練習」という宿題に対して、「刀」という字で1Pを埋め尽くすのは、効果的な漢字学習ではありません。どの字の練習が必要なのかを自覚しながら練習ができると、非常に効果的な漢字学習が行えます。

すでに、「見て書いた漢字は△を書いた」「今回は10個答えを見た」と報告してくれる子もいます。2年生ながら自己調整を利かせながら学習している姿にとっても感心します。



【必要に合わせて答えを見て漢字を学習する】

③繰り返し練習し、粘り強く学習する態度を身に付ける

2Qの通信 (<https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=9496>) でも書きましたが、漢字学習で身に付けたい力は、粘り度強く学習する態度です。

学年が上がるにつれて、当然覚える字の数は増え、それぞれの字も難しくなります。「刀」のように一度見ただけでは覚えられない字も多いです。

努力すればできるはずのことを、できないままにしているのは、心も頭も成長していきません。

繰り返し練習をしてできるようになる経験をすることで、努力することのよさや気持ちよさを感じられます。それを積み重ねることで粘り強く努力する態度を身に付けて欲しいと思っています。



【それぞれの課題に集中して練習に取り組む】